

令和3年（2021年）4月入学者用

令和3年度 （2021年度）

私費外国人留学生募集要項

出願資格確認期限 令和2年（2020年）11月16日（月）（必着）

出願期間 令和2年（2020年）
12月17日（木）～12月22日（火）（必着）

入試実施日 令和3年（2021年）2月6日（土）

【重要】

今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、入学者選抜の方法や日時等を変更する場合があります。変更する場合は、本学ウェブページでお知らせします。



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

目 次

1	出願から入学までの流れ……………	1
2	募集人員……………	1
3	アドミッション・ポリシー (入学者受入れの方針) ……………	2
4	出願資格……………	5
5	出願資格確認……………	5
6	出願手続……………	6
7	入学者選抜方法……………	7
8	検査日程……………	7
9	入学試験場……………	8
10	合格者の発表……………	8
11	入学手続等……………	8
12	その他……………	10

この募集要項には、次の出願書類等（所定用紙）を添付していますので確認してください。

- 入学志願票
- 写真票・受験票
- 外国人留学生出願資格確認申請書(学部)
- 出願用封筒
- 受験票返送用封筒
- あて名票
- 写真用シール

1 出願から入学までの流れ

内 容	日 程	備 考
TOEFL iBT®または IELTS の受験（一部専攻・コースのみ）	出願までに成績が提出できるよう受験してください。	該当する専攻・コースについては別表1（11～12ページ）を参照してください。
2019年度又は2020年度日本留学試験の受験	（2019年度） 第1回：6月実施 第2回：11月実施 （2020年度） 第2回：11月実施	2019年度（第1回・第2回のいずれか）又は2020年度（第2回）のいずれかの試験を受験していることが必要です。専攻等により受験科目が異なります。 日本留学試験の受験票は本学の入試でも必要ですので、大切に保管してください。
出願資格確認書類の提出	2020年11月16日（月） （必着）	結果は電子メールまたは電話で通知します。 出願期間までに連絡がない場合は入試課に問い合わせてください。
出願書類の提出期間	2020年12月17日（木） ～12月22日（火） （必着）	出願資格確認の結果通知を受けてから、出願してください。
受験票の送付	2021年 1月 5日（火）	
入学試験実施日	2021年 2月 6日（土）	
合格者の発表および合格通知、入学手続書類の送付	2021年 2月17日（水）	本学ウェブページで発表します。合格通知等は合格者にのみ送付します。
入学料振込期限	2021年 3月 1日（月）	
入学手続期限	2021年 3月 4日（木） （必着）	やむを得ない事情による持参の場合は8ページを参照してください。
在留資格「留学」の申請	入学までに取得できるよう手続きをしてください。	入学手続後、以下の申請書のいずれかの交付を受け、出入国在留管理庁に提出してください。 ○在留期間更新・在留資格変更許可申請書（所属機関等作成用） ○在留資格認定証明書交付申請書（所属機関等作成用）

2 募集人員

【初等教育教員養成課程】

【学校教育教員養成課程】

【養護教諭養成課程】

募集区分毎に若干人

（初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 夜間コースを除く。）

【教育協働学科】

・教育心理学専攻 9人

・健康安全科学専攻 3人

・理数情報専攻

数理情報コース 4人

自然科学コース 6人

・グローバル教育専攻

英語コミュニケーションコース 10人

多文化リテラシーコース 15人

・スポーツ科学専攻 3人

・上記以外の募集区分は、募集区分毎に若干人

合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。

3 アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

「大阪教育大学アドミッション・ポリシー」

1. 基本理念・目標

大阪教育大学は、我が国の先導的な教員養成大学として、教育の充実と文化の発展に貢献し、とりわけ教育界における有為な人材の育成をとおして、地域と世界の人々の福祉に寄与する大学であることを使命としています。この使命を達成するため、大阪教育大学では人と真摯に向き合う姿勢を基に、学生一人ひとりの個性を尊重した教育を推進していきます。

教育学部の各課程・学科、大学院教育学研究科、大学院連合教職実践研究科、特別支援教育特別専攻科では、この理念・目標に沿った人材の養成や育成をめざしています。

なお、本学では教育学部及び大学院において外国人留学生の受入れを積極的に進めています。

2. 求める学生像

（教育学部）

- ・子どもの未来への使命感と教職への意欲や強い関心を持つ人
- ・教員として教育現場を担える十分な基礎学力と旺盛な探求心を持つ人
- ・幅広く専門分野を学ぶことにより広い視野や柔軟な思考力の修得をめざす人
- ・現代社会への幅広い関心と自らの課題意識を持って積極的に社会参画をめざす人

（大学院教育学研究科）（注）

- ・学校や地域が抱える課題に強い関心を有する人
- ・特定分野において専門性や優れた実務・実践経験を有し、これを活用して教育・学習支援に参画することを志す人
- ・教育現場の課題について実践的研究を行うことで、学校改革に向けて先導的・中核的な役割を担うことを志す人

（大学院連合教職実践研究科）

- ・学校や地域の指導的・中核的な教員として高度で優れた実践力の獲得をめざす現職教員
- ・新しい学校づくりの担い手として自ら学び続けることで実践的指導力の獲得をめざす人

（特別支援教育特別専攻科）

- ・特別支援教育教員をめざすために必要な基礎学力があり、十分な教育実践力を身につけようとする意欲にあふれる人
- ・特別支援教育の教職に就くことを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- ・障がいのある子どもたちの成長にかかわることにやりがいと使命感を感じることができる人
- ・人とコミュニケーションを図る優れた能力や個性を備えている人
- ・これまでの生活体験をとおして、学校や教育への親しみや関心を強く抱いている人

（外国人留学生）

上記の学部若しくは大学院の求める学生像に加えて、次のような人を求めています。

- ・一定の日本語能力と大学教育を受けるに必要な基礎学力を持つ人
- ・日本の文化や社会についての理解や経験を活かして国際的に活躍することをめざす人

3. 入学者選抜の基本方針

本学では、各募集区分の基本理念・目標等にふさわしい学生を受け入れるために、次の入学者選抜を実施します。

教育学部においては、学力の3要素（①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）等を多面的・総合的に評価して入学者を選抜するため、一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜、学部私費外国人留学生選抜、第3年次編入学選抜の多様な入学者選抜を実施します。

大学院教育学研究科においては、学校内外での教育・学習支援への関心、専門分野に関する知識・技能や学び続ける意欲等を総合的に評価して入学者を選抜するため、大学院入学者選抜を実施します。（注）

大学院連合教職実践研究科においては、教職に必要とされる知識や学び続ける意欲等を総合的に評価して入学者を選抜するため、大学院入学者選抜を実施します。

特別支援教育特別専攻科においては、特別支援教育の教職に必要とされる基礎学力や特別支援教育への意欲等を総合的に評価して入学者を選抜するため、特別支援教育特別専攻科入学者選抜を実施します。

（注）大学院教育学研究科は令和3年4月に改組予定のため、大学院教育学研究科に関する記載については変更する場合があります（令和2年4月時点設置申請中）。

「初等教育教員養成課程アドミッション・ポリシー」

1. 基本理念・目標

初等教育教員養成課程では、グローバルな視野と豊かな教養を身に付け、幼稚園と小学校との連携をふまえた専門的知識・技能及び優れた実践力・応用力を有する教員を養成します。そのために、教養科目及び基礎的科目を修得しながら、教職に関わる科目を幅広く学ぶとともに、一人ひとりの子どもの人権や安全を守る教育についての知識や能力を養い、幼児教育と小学校教育の双方の専門分野について学修を深めます。

本課程に置く「幼児教育専攻」では、幼児を理解する力や豊かな表現力を身に付け、小学校教育との接続を踏まえた幼児教育について総合的な視点をもつ実践力のある幼稚園教員の養成を目的としています。

「小学校教育専攻」の昼間コースでは、児童を理解する力や基礎的な指導力を身に付け、幼児教育との接続を踏まえた小学校教育について総合的な視点をもつ実践力のある小学校教員の養成を目的としています。

「小学校教育専攻」の夜間コースでは、昼間の勤労経験や教育現場でのインターンシップ活動など豊富な経験をもとに、豊かな人間性と社会性を備え、かつ、幼小連携に関心を持ち、優れた実践的能力を備えた小学校教員の養成を目的としています。なお、夜間コースの編入生に対しては、学生一人ひとりの学歴や専門性を活かして、優れた実践的能力を備えた小学校教員の養成を目的としています。また、現職教員についても、個性や経歴を尊重した教育を行います。

2. 求める学生像

- ・教職に就くことを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- ・教育や子どもの発達について、強い興味・関心と問題意識を持っている人
- ・明朗で協調性に富み、多様な人とのコミュニケーションが図れる人
- ・学校現場での豊富な体験や子どもとのふれあいなどを通して、確かな教育実践力を身に付けようとする人
- ・高等学校等で履修した教科・科目全般にわたる基礎学力を十分に身に付け、ICTの活用に積極性のある人

「学校教育教員養成課程アドミッション・ポリシー」

1. 基本理念・目標

学校教育教員養成課程では、広い視野と豊かな教養を身に付け、専門的知識・技能及び優れた教育指導力を持った学校教員を養成します。そのために、教養科目及び基礎的科目を修得したうえで、教職に関わる科目を学ぶとともに、学校安全や危機対応についての知識や能力を養い、さらに、自らが所属する専攻・コースにおいて、専門分野の学修を深めます。本課程に置く「特別支援教育専攻」では、特別支援教育に関する知識や優れた技能を持ち、特別支援学校及び通常の学校で特別支援教育に携わる教員の養成を目的としています。「小中教育専攻」では、小・中学校の教育に関する知識や技能を持ち、専門の教科などに優れ、小・中学校の連携を踏まえた指導ができる小学校教員の養成を主目的としています。「中等教育専攻」では、専門の教科を中心にした優れた教育指導力を持ち、中学校と高等学校の接続や一貫教育を踏まえた指導ができる中学校教員・高等学校教員の養成を目的としています。

2. 求める学生像

- ・高等学校で履修した教科・科目の基礎学力を十分に身に付けた人
- ・専門分野への関心があり、十分な学力と適性を持っている人
- ・教職に就くことを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- ・子どもたちの成長に関わることにやりがいと使命を感じることが出来る人
- ・多様な年齢の人々とコミュニケーションを図る能力を身に付けようとしている人
- ・学校生活の経験をとおして、学校や教育への親しみや関心を抱いている人
- ・特別支援教育専攻では、特別支援学校及び通常の学校で特別支援教育に携わる教員をめざすために十分な教育実践力を身に付けようとする意欲あふれる人
- ・小中教育専攻では、得意分野を中心に、小学校教員や中学校教員をめざすために十分な教育実践力を身に付けようとする意欲あふれる人
- ・中等教育専攻では、得意分野があり、その分野に関し中学校教員や高等学校教員としての十分な教育実践力を身に付けようとする意欲あふれる人

「養護教諭養成課程アドミッション・ポリシー」

1. 基本理念・目標

養護教諭養成課程では、教育学の基礎の上に、医学・看護学・養護学など、幅広い専門分野の基礎知識と実践能力を備え、健康を保持増進する能力を子どもたちが獲得できるように様々な機会を捉え支援する資質を備えた養護教諭を養成します。そのため、幅広い教養教育の基礎の上に立って、各専門分野の学修を深めるとともに、臨床（病院）実習、養護実習などとおして実践能力の向上をめざします。さらに、学校安全や危機対応についての知識や能力を養います。

2. 求める学生像

- ・養護教諭をめざすために必要な基礎学力があり、十分な教育実践力を身に付けようとする意欲にあふれる人
- ・養護教諭になることを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- ・子どもたちの健康な学校生活を支援することにやりがいと使命を感じる人
- ・人と明るく温かなコミュニケーションが図れる能力や個性を備えている人

「教育協働学科アドミッション・ポリシー」

1. 基本理念・目標

多様化し、複雑化する現代社会においては、学校の教師だけで子どもの教育を支え、学校の教育だけで社会の教育を支えることは不可能になってきています。教育協働学科は、学校現場や社会で絶え間なく発生する教育課題を解決するために、チーム学校を含む学校教育や地域教育活動を取り巻く分野（教育心理学、健康安全科学、理数情報、グローバル教育、芸術表現、スポーツ科学）の専門性を有しつつ、教育的視点から学校、家庭、地域、社会と連携・協働することで、グローバル時代における多様な教育課題の解決を図ることができる人材の養成を目的とします。

そのため、学校と連携・協働して学校や地域における諸課題に対して教育的視点から解決を図ろうとする意欲を有する人材、また、学校教育のみならず家庭教育や社会教育においても、他者と協働しつつ高度な指導や支援、マネジメントができる人材、さらに、グローバル時代の多様な教育課題の解決を図ることが出来る人材を養成します。

2. 求める学生像

- ・自ら専門性を有しつつ教育理解をもって多様な専門家や市民と協働し、生涯教育社会における学校と地域社会と共に多様な教育課題の解決を図ることができる人
- ・自らの専門分野で高度な知識や高い技能を修得し、それらを活用して学校、家庭、地域、社会において教育理解を持って連携・協働することに意欲のある人
- ・確かな学力と旺盛な知的な好奇心、人間への深い愛情を持って、教育協働に資する分野で活躍したいと考えている人

4 出願資格

次のすべてに該当する者

- (1) 日本の国籍を有しない者で、日本の永住許可を得ていない者
- (2) 次のア、イ、ウのいずれかに該当する者
 - ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2021年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - イ 下記のいずれかの資格を取得した者
 - スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格
 - フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格
 - ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
 - ウ 外国において、高等学校に対応する学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされる者であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを修了した者（2021年3月31日までに修了見込みの者を含む。）
- (3) 在留資格「留学」を取得している者又は入学までに取得できる見込みの者
- (4) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する2019年度日本留学試験（第1回、第2回のいずれか）又は2020年度日本留学試験（第2回）を受験した者※1、2
- (5) 上記（4）の日本留学試験において「日本語」の総得点が230点以上の者

※1 日本留学試験の出題言語は日本語とします。

※2 日本留学試験を受験の際には、別表1の科目区分（11～12ページ参照）及び別表2の受験科目等（13ページ参照）に従って、受験してください。

5 出願資格確認

事前に出願資格の確認を行いますので、出願希望者は2020年11月16日（月）（必着）までに下記の書類を郵送（書留とする）又は持参により大阪教育大学入試課に提出してください。特に海外からの郵送は時間がかかることもあるので、注意してください。なお、提出書類は返却しませんので、②、③については必ずコピーを送付してください。出願資格の確認後、結果を電子メール又は電話で連絡します。

- ①「外国人留学生出願資格確認申請書（学部）」（本学所定の用紙使用）
- ②出身学校（日本の高等学校に対応する学校）の修了（卒業）証明書のコピー又は同見込証明書のコピー及びその日本語訳
- ③在留資格及び在留期間を証明する書類（在留カードのコピー）
（③については、すでに日本に在留している者のみ提出してください。）

6 出願手続

(1) 提出書類等

書 類 等	摘 要
① 入学志願票	本学所定の用紙に必要な事項を記入してください。(26ページ参照)
② 受験票・写真票・写真用シール	本学所定の用紙に必要な事項を記入してください。 受験票及び写真票に「写真」を貼り付けてください。 (写真は、正面、上半身、脱帽の縦4cm×横3cmで3か月以内に撮影したものであり受験票・写真票とも同一のもの(写真の裏面に氏名を記入してください。))写真の上から、出願書類等に同封している本学所定の写真用シールを貼り付けてください。
③ 決済確認票(入学検定料支払証明書)	入学検定料支払専用サイトから決済確認票をA4用紙に印刷し提出してください。コンビニ払い、ネットバンキング、Pay-easy(ペイジー)での支払いの場合は、印刷後、表示される支払い期限までに支払いを行い、支払ったことが分かる書類(レシート・支払明細書等のコピー)を決済確認票へ貼り付けてください。
④ 修了証明書等※ ¹	出身学校(日本の高等学校に対応する学校)の修了(卒業)証明書又は同見込証明書
⑤ 成績証明書※ ¹	出身学校(日本の高等学校に対応する学校)の成績証明書
⑥ 国際バカロレア資格証書等	国際バカロレア資格を有する方は、国際バカロレア資格証書及び成績評価証明書を提出してください。
⑦ バカロレア資格試験成績証明書等	バカロレア資格を有する方は、バカロレア資格証書及びバカロレア資格試験成績証明書を提出してください。
⑧ 一般的大学入学資格証明書	アビトゥア資格を有する方のみ提出してください。
⑨ 日本留学試験の受験票のコピー※ ²	独立行政法人日本学生支援機構発行のもの(コピー)を提出してください。 日本留学試験の受験票の原本は、大切に保管し、本学が発送する受験票(8ページ「9 入学試験場」参照)とともに入学試験当日に必ず持参してください。
⑩ 受験票返送用封筒	本学所定の封筒にあて先を明記し、切手384円分を貼り付けてください。(送付先が海外の場合は、提出は不要です。出願後に別に指示します。)
⑪ 住民票の写し	市区町村長発行の国籍・在留資格及び在留期間を明記したものすでに日本に在留している方のみ提出してください。(出願者以外の世帯員については、証明不要です。)
⑫ あて名票	合格通知等を受け取る際の郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入してください。3枚とも記入してください。出願後住所変更した場合は、すみやかに届け出てください。(送付先が海外の場合は、提出は不要です。出願後に別に指示します。)
⑬ 実技検査用楽譜(該当者のみ提出)※ ³	実技検査に必要な楽譜はB4判とし、志願者氏名を明記してください。(1ページの大きさはB5判としてください。)
⑭ 選択した課題曲等(該当者のみ提出)※ ³	音楽実技実施科目で選択した課題曲等の歌曲名等についてはB5判の用紙(書式は任意)に、志願者氏名を明記のうえ提出してください。
⑮ TOEFL iBT® Test Taker Score ReportまたはIELTS Test Report Form(該当者のみ提出)※ ⁴	TOEFL iBT®受験者は、Educational Testing Service発行のもの(コピー)を提出してください。テスト形式はiBTとします。 IELTS受験者はIELTS Test Report Form(コピー)を提出してください。 なお、原本は入学試験当日必ず持参してください。

※¹ 証明書等が日本語以外で記載されている場合は、**日本語訳**を添付して提出してください。

※² 2019年度日本留学試験の第1回(6月実施)、第2回(11月実施)、2020年度日本留学試験の第2回(11月実施)のいずれかを提出してください。複数回受験している場合は、いずれの成績を利用するか志願者が選択し、提出してください。

※³ 該当する専攻・コース及び詳細については別表6-1(20~24ページ)をご参照ください。

※⁴ 該当する専攻・コース及び詳細については別表1(11~12ページ)をご参照ください。

(2) 入学検定料納付方法

入学検定料の支払い方法は、クレジットカード、コンビニ払い、ネットバンキング、Pay-easy（ペイジー）となります。次のURLで本学ウェブページにアクセスし、入学検定料の支払い受付期間を確認の上、専用サイトから必要事項の入力を行い、入学検定料の支払い手続きを行ってください。

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/kenteiryoku.html>

- ・入学検定料 17,000円（別途、システム利用料がかかります。出願者の負担となります。）
- ・出願後、一旦受理した入学検定料は、返還できません。

ただし、次の場合は、入学検定料の返還請求が可能です。（返還に係る振込手数料は請求者の負担となります。）なお、返還請求には決済確認票（入学検定料支払証明書）が必要です。

- ア) 入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
- イ) 入学検定料を払い込んだが、出願資格を有していないため出願書類が受理されなかった場合
- ウ) 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

上記ア)～ウ)に該当する場合は、大阪教育大学入試課までお問い合わせください。

電話 072-978-3323（受付時間：平日9:00～17:00）FAX 072-978-3327

・東日本大震災（2011年3月11日）及び熊本地震（2016年4月14日）により被災した志願者を対象に入学検定料の免除を行う場合があります。詳細は以下の本学ウェブページを参照してください。

https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/kenteiryoku_menjyo.html

なお、入学検定料返還の時期は、返還請求の時期にかかわらず、令和3年度（2021年度）私費外国人留学生の入試関連日程終了後、2月下旬一括して返還手続きを行います。

(3) 出願期間

2020年12月17日（木）～12月22日（火）（必着）

なお、出願期間後に届いたものは、12月18日（金）までの消印がある**書留速達郵便**に限り受理します。ただし、外国からの郵便は12月22日（火）必着とします。持参の場合、窓口受付（柏原キャンパス入試課）は12月22日（火）10:00～17:00（12:00～13:00を除く。）です。

(4) 出願方法

入学志願者は、出願に必要な書類等を取りそろえ、

大阪教育大学入試課（〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1/4-698-1 Asahigaoka, Kashiwara, Osaka, 582-8582, Japan）へ、この要項に添付されている封筒に入れて、出願期間中に届くよう**書留速達郵便**で送ってください。持参の場合は入試課の窓口へ提出してください。

注1) 出願書類受理後は、記載事項の変更は認めません。また、記載事項が事実と相違していることが判明した場合は、合格又は入学許可を取り消すことがあります。

注2) 受理した出願書類は、いかなる理由があっても一切返還しません。

障がい又は病気その他の理由で、受験上の配慮を希望する方は、2020年11月16日（月）までに入試課へご相談ください。（受付時間：平日9:00～17:00）
電話 072-978-3323 FAX 072-978-3327
電子メール nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

本学は障がい学生修学支援ルームを設置しています。なお、本ルームは入学後に修学上の配慮を希望する方の事前相談にも応じています。

<問い合わせ先>障がい学生修学支援ルーム

電話 072-978-3479（受付時間：平日9:00～17:00）

電子メール sienroom@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

7 入学者選抜方法

入学者の選抜は、独立行政法人日本学生支援機構が行う2019年度、2020年度（第2回）日本留学試験の成績、本学が行う私費外国人留学生の選抜試験（別表1～6（11～25ページ）参照。）の成績、TOEFL iBT®またはIELTSのスコア（必要とする専攻・コースのみ。別表1参照。）及び出身学校等の成績を総合して行います。

ただし、募集人員を定める募集区分（教育心理科学専攻、健康安全科学専攻、理数情報専攻数理情報コース、理数情報専攻自然科学コース、グローバル教育専攻英語コミュニケーションコース、グローバル教育専攻多文化リテラシーコース、スポーツ科学専攻）について、日本留学試験の成績又は本学が行う試験の成績が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とすることがあります。なお、大学入学共通テストは課しません。

注) 新型コロナウイルス感染症の今後の感染状況によって、選抜方法を変更する場合があります。その際は本学ウェブページでお知らせします。

8 検査日程

2021年2月6日（土）【時間については別表1（11～12ページ）を参照してください。】

9 入学試験場

大阪教育大学柏原キャンパス 〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

【近鉄大阪線「大阪教育大前駅」（「鶴橋駅」から約30分）下車 南東へ約1km）

※上り専用エスカレーター（3基乗り継ぎ）、途中階段があります。】

受験票返送（2021年1月5日（火）発送予定）時に同封の試験場案内図及び注意事項を確認してください。
なお、受験にあたっては、本学が発行する受験票の他に、日本留学試験の受験票（原本）の持参が必要となります（成績通知書は不可）ので、大切に保管してください。

10 合格者の発表

合格者は、2021年2月17日（水）9:00に

本学ウェブページ(https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/goukaku_happyou.html)に掲載します。

合格者には、合格通知書及び入学手続関係書類を別途、特定封筒郵便物（日本郵便レターパックプラス（手渡し配達））で郵送しますので、合格者は必ず受け取ってください。2021年2月22日（月）までに入学手続関係書類が届かない場合は入試課（電話 072-978-3323 受付時間：平日9:00～17:00）までお問い合わせください。

合格者の発表について、電話等による照会には一切応じません。

また、大学周辺での合格電報等の勧誘・受付等は大阪教育大学とは一切関係ありません。

11 入学手続等

(1) 入学手続期限

2021年3月4日（木）必着で郵送してください。

注1) やむを得ない事情があって、郵送で入学手続ができない場合には、事前相談のうえ、2021年3月5日（金）に持参（来学）による入学手続を認めます。なお、詳細については合格者に別途通知します。入学手続期限までに入学手続を完了しない者は、入学辞退者として取り扱います。

注2) 本学受験票は、入学手続の際に必要となりますので大切に保管してください。

注3) 本学に入学手続をした後、特別な事情により本学への入学を辞退する場合は、入学辞退願により、事前に電話連絡の上、入学手続関係書類に記載の期日までに柏原キャンパス内の入試課で入学辞退手続をしてください。所定の期限以降の入学辞退は一切できません。

ただし、入学手続をしなかった場合は、特に入学辞退の手続きをする必要はありません。

(2) 入学料及び入学時諸費用

ア 入学料 282,000円

入学手続後、既に納付した入学料は、入学辞退を含むいかなる理由があっても返還しません。

2021年3月1日（月）までに金融機関から振り込んでください。外国から送金する場合は振込手続に必要な日数を事前に確認のうえ、時間的な余裕を持って手続してください。

イ 入学時諸費用

大阪教育大学校友会 70,000円

注1) 「大阪教育大学校友会」は、教育研究活動、大学行事、課外活動、福利厚生、奨学金給付及び就職への支援など様々な学生支援事業を行うとともに、在学生を含む卒業生、修了生の同窓会活動への支援を行う組織です。

注2) 入学時のみの費用です。

注3) 上記記載の金額は、変更される場合があります。詳細については、入学手続関係書類を参照してください。

(3) その他入学に必要な費用

授業料（前期分） 267,900円（年額 535,800円）

本学では授業料の「口座振替制度」（口座引落とし）を実施しており、入学後、学生名義の預金口座から、前期分は4月に、後期分は10月に授業料を引き落としします。

注1) 上記記載の金額は、2020年度入学者の金額であり、2021年度入学者については、変更される場合があります。なお、詳細については合格者に別途通知します。

注2) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

注3) このほか、テキストや英語の資格・検定試験、実習及び課外活動等の経費は別途必要となる場合があります。

(4) ノートパソコンの必携について

ア はじめに

本学では、ICT 科目の講義でパソコンを使用し、レポート作成や論文作成、教育実習など、大学生活の中で数多くの機会にパソコンを活用します。

みなさんの大学卒業時には、獲得した知識とスキルを教育現場や社会で十分に発揮できるように、自分専用のノートパソコンを用いてさまざまな活動を行ってもらうことを目的とし、みなさんのノートパソコンを大学へ持参していただいています。

イ 持参していただくノートパソコン

本学が指定する必要条件（最低限必要な機能・性能等）を満たす自分専用のノートパソコンを入学までにご用意ください。

必要条件を満たせば、すでにお持ちのノートパソコンを使用していただいても構いません。本学では、特定の機種を指定して購入をお願いすることはしていません。

詳しくは合格者に送付する入学手続関係書類に同封する「ノートパソコンの必携についてのご案内」にてお知らせします。

なお、令和3年度（2021年度）の新入生向けノートパソコン必要条件は、前年度の必要条件とほぼ同様となる予定です。

ウ 貸与

やむを得ない事情で、ノートパソコンの貸与を必要とされる方には、「ノートパソコン貸与基準」により審査を通過した者に、原則入学後6ヶ月間に限り大学から貸与します。

参考

- ・ノートパソコンの必要条件（前年度の内容です）

<https://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~ipc/byod/>

- ・ノートパソコン貸与基準

<http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~ipc/byod/taiyo2020.html>

<ノートパソコン必携に関する問い合わせ窓口>

大阪教育大学 情報企画室 電話：072-978-3772（受付時間 平日9:00～17:00）

(5) 入学料及び授業料免除制度等

入学料及び授業料の免除・徴収猶予制度があります。

ア 入学料免除

下記の対象者のいずれかに該当する方について、本人の申請に基づき選考の上、免除が許可された場合、入学料の全額又は半額が免除されます。

対象者	(ア) 本学入学前1年以内（2020年4月から2021年3月まで）において本人の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、又は本人もしくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる者 (イ) (ア) に準ずるやむを得ない事情があると認められる者 【単に収入が少ない(母子・父子世帯や失業など)だけでは対象となりません。】
-----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

入学料免除については、上記のとおり申請対象となる条件が限定されます。

イ その他（入学料徴収猶予・授業料免除等）

その他については以下の本学ウェブページを参照してください。詳細については合格者に別途通知します。

入学料免除等について <https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/gakusei/nyumen.html>

授業料免除等について <https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/gakusei/jyumen.html>

(6) 在留資格『留学』の申請について

『在留資格に係る申請書類交付願』を合格通知・入学手続関係書類とともに送付しますので、以下の申請書を出国在留管理庁に提出する必要がある方は、『在留資格に係る申請書類交付願』に必要事項を記入して、入学手続後に大阪教育大学入試課まで提出してください。

- 在留期間更新・在留資格変更許可申請書（所属機関等作成用）
- 在留資格認定証明書交付申請書（所属機関等作成用）

(7) その他

ア 提出書類その他、入学手続の詳細については、合格者に通知します。

イ 入学手続を完了した方で、他の大学・学部への入学許可を得ようとする方は、必ず事前に入学辞退の手続をしてください。

ウ 入学手続時に【麻しん（はしか）に関する確認書】を提出してください。ただし、麻しんワクチンの接種は、入学手続書類が届いてからでは間に合わないこともあるので、できる限り事前に済ませておいてください。詳細は27ページの「麻しん（はしか）の予防について《お知らせ》」を参照してください。

12 その他

(1) 学位

区分	学位名称	英語表記
初等教育教員養成課程 学校教育教員養成課程 養護教諭養成課程 教育協働学科	学士（教育学）	Bachelor of Education

(2) 修学場所

柏原キャンパス

初等教育教員養成課程（1，2年次）

学校教育教員養成課程

養護教諭養成課程

教育協働学科

天王寺キャンパス

初等教育教員養成課程（3，4年次）

(3) 個人情報の取扱いについて

出願受付を通じて取得した個人情報及び入学試験の実施により取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」、「国立大学法人大阪教育大学保有個人情報等管理規程」及び「国立大学法人大阪教育大学保有個人情報開示等取扱規程」に基づき、適切に管理し、以下のとおり取り扱います。法令に基づく場合を除き、個人情報の目的外利用及び第三者に提供することはありません。

1. 入学者の選抜，合格発表，入学手続業務等に利用します。
2. 入学者の個人情報については，教務関係（学籍，修学指導等），学生支援関係（健康管理，授業料免除，奨学金申請等），授業料徴収等に関する業務に利用します。
3. 入学者選抜に用いた試験成績は，個人が特定できない形で処理したうえで，今後の入学者選抜等における調査，研究及びこれらに付随する業務を行うための分析資料として利用します。

なお，以上の業務の一部またはすべてを外部に委託し，必要な個人情報を提供する場合は，委託先との間で適切な取扱いに関する契約を締結します。

別表 1

入学者選抜方法・配点・検査時間

課程・専攻・コース		選抜方法等		日本留学試験		TOEFL iBT® またはIELTS		本学が行う試験科目・配点		合計	検査時間
		科目 区分	配点	注1	配点	試験科目	配点				
初等教育 教員養成課程	幼児教育専攻	文系				実技 面接	500 350	1700	10:00～	注3	
	小学校教育専攻昼間コース	文系又 は理系				小論文 面接	200 200	1250	10:00～11:30	注3	
学校教育 教員養成課程	特別支援教育専攻	文系				小論文 面接	200 100	1150	10:00～12:00 13:00～		
	小中 教育専攻	学校教育コース	文系又 は理系				小論文 面接	200 200	1250	10:00～12:00	注3
		国語教育コース	文系				小論文 面接	300 100	1250	10:00～12:00	注3
		英語教育コース	文系又 は理系	○	120		面接	200	1170	10:00～	
		社会科教育コース	文系				小論文 面接	200 100	1150	10:00～12:00 13:00～	
		数学教育コース	理系				数学 注2 面接	800 100	1750	10:00～12:00 13:30～	
		理科教育コース					小論文 面接	300 200	1350	10:00～12:00 13:30～	
		家政教育コース	文系又 は理系				小論文 面接	150 150	1150	10:00～12:00 13:30～	
		保健体育コース					実技 面接	450 300	1600	10:00～	注3
		音楽教育コース					実技 面接	400 200	1450	10:00～12:00	注3
		美術・書道教育コース					実技 面接	400 250	1500	10:00～12:00	注3
	中等 教育専攻	国語教育コース	文系				小論文 面接	300 100	1250	10:00～12:00	注3
		英語教育コース	文系又 は理系	○	120		面接	200	1170	10:00～	
		社会科教育コース	文系				小論文 面接	200 100	1150	10:00～12:00 13:00～	
		数学教育コース	理系				数学 注2 面接	800 100	1750	10:00～12:00 13:30～	
		理科教育コース					小論文 面接	300 200	1350	10:00～12:00 13:30～	
		技術教育コース	文系又 は理系				小論文 面接	200 200	1250	10:00～11:30 13:30～	
		家政教育コース					小論文 面接	150 150	1150	10:00～12:00 13:30～	
		保健体育コース					実技 面接	450 300	1600	10:00～	注3
	音楽教育コース					実技 面接	400 250	1500	10:00～12:00	注3	
美術・書道教育コース					実技 面接	400 250	1500	10:00～12:00	注3		
養護教諭養成課程	理系					小論文 面接	200 100	1150	10:00～12:00 13:00～		

※ 日本留学試験の受験科目の詳細については、別表2(13ページ参照)にて確認してください。文系・理系の別によって受験科目が異なるので注意してください。特に数学のコース選択に注意してください。

※ 「面接」には、口述試験を含みます。

注1) ○印のある課程・専攻は、TOEFL iBT®またはIELTSの受験が別途必要です。TOEFL iBT®は素点を、IELTSはoverall scoreを別表3(13ページ参照)によりTOEFL iBT®のスコアに換算したものを利用します。

注2) 数学の出題範囲は、次のとおりです。

・「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」は全範囲から出題します。

・「数学B」は「数列」、「ベクトル」の2分野を出題範囲とします。

注3) 面接の時間及び場所については、当日指示します。

課程・専攻・コース		選抜方法等		日本留学試験		TOEFL iBT® またはIELTS		本学が行う試験科目・配点		合計	検査時間					
		科目区分	配点	注1	配点	試験科目	配点									
教育協働学科	教育心理科学専攻		各課程・専攻とも課す	文系 又は 理系	850	○	240	小論文	300	1450	10:00～12:00					
								面接	300		13:30～					
	健康安全科学専攻							理系					小論文	300	1450	10:00～12:00
													面接	300		13:30～
	理数情報 専攻	数理情報コース						理系				数学 注2	300	1450	10:00～12:00	
												面接	300		13:00～	
	グローバル 教育専攻	英語コミュニケーションコース						文系				小論文	200	1250	10:00～12:00	
												面接	200		14:00～	
	芸術表現 専攻	音楽表現コース						文系 又は 理系				面接	300	1390	13:00～	
												小論文	300		10:00～12:00	
		面接	300	13:30～												
芸術表現 専攻	音楽表現コース						実技	400	1450	10:00～						
							面接	200		注3						
芸術表現 専攻	美術表現コース						実技	600	1650	10:00～12:00						
							面接	200		12:15～						
スポーツ科学専攻							実技	500	1550	10:00～						
							面接	200		注3						

※ 日本留学試験の受験科目の詳細については、別表2(13ページ参照)にて確認してください。文系・理系の別によって受験科目が異なるので注意してください。特に数学のコース選択に注意してください。

※ 「面接」には、口述試験を含みます。

注1) ○印のある課程・専攻は、TOEFL iBT®またはIELTSの受験が別途必要です。TOEFL iBT®は素点を、IELTSはoverall scoreを別表3(13ページ参照)によりTOEFL iBT®のスコアに換算したもの(グローバル教育専攻英語コミュニケーションコースについては、120点満点を240点満点に換算したもの)を利用します。

注2) 数学の出題範囲は、次のとおりです。

- ・「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」は全範囲から出題します。
- ・「数学B」は「数列」、「ベクトル」の2分野を出題範囲とします。

注3) 面接の時間及び場所については、当日指示します。

別表 2

日本留学試験の受験科目等一覧

科目区分	科目	目的	時間	得点範囲
理系	日本語	日本の大学等での勉学に対応できる日本語力（アカデミック・ジャパニーズ）を測定する。	125分	0～450点
	理科	日本の大学等の理系学部での勉学に必要な理科（物理・化学・生物）の基礎的な学力を測定する。	80分	0～200点
	数学 （コース2）	日本の大学等での勉学に必要な数学の基礎的な学力を測定する。	80分	0～200点
文系	日本語	日本の大学等での勉学に対応できる日本語力（アカデミック・ジャパニーズ）を測定する。	125分	0～450点
	総合科目	日本の大学等での勉学に必要な文系の基礎的な学力，特に思考力，論理的能力を測定する。	80分	0～200点
	数学 （コース1）	日本の大学等での勉学に必要な数学の基礎的な学力を測定する。	80分	0～200点

注1) 出題言語は，日本語とします。

注2) 「日本語」の成績は，「読解」・「聴解・聴読解」・「記述」の3領域とします。

注3) 「理科」の成績は，「物理」・「化学」・「生物」から2科目とします。

注4) 出題範囲は，各科目のシラバス〔独立行政法人日本学生支援機構 <http://www.jasso.go.jp/>に掲載〕を参照してください。

別表 3

IELTS-TOEFL iBT®点数換算表

IELTS	TOEFL iBT®
9	120
8.5	120
8	120
7.5	110
7	100
6.5	90
6	80
5.5	73
5	65
4.5	60
4	55
3.5	50
3	45
2.5	40
2	35
1.5	30
1	25

小論文の実施内容

専攻等区分	実施内容	採点・評価基準
初等教育 教員養成課程 小学校教育専攻 昼間コース	提示された課題に関する論述をとおして、論理構成力・表現力をみるために、小論文形式で筆答させる。	論理構成力・表現力を総合的に評価する。そのための評価観点とは、課題に即して設定する。
特別支援教育専攻	文章表現をとおして、思考力・表現力をみるために、小論文形式で筆答させる。	思考力・表現力を総合的に評価するが、課題の理解力や論理の構成力、漢字の表記能力についても採点・評価の対象とする。
小中教育専攻 学校教育コース	文章表現をとおして、思考力・洞察力・表現力をみるために、小論文形式で筆答させる。	思考力・洞察力・表現力を総合的に評価するが、課題の理解度や分析力、論理の構成力についても採点・評価の対象とする。
小中教育専攻 国語教育コース	国語（現代文・古文・漢文・国語表現）に関する理解力・表現力をみるために、小論文形式で筆答させる。	目的・状況に応じて活用できる言語能力を測るため、国語（現代文・古文・漢文・国語表現）に関して、理解力、分析的思考力、判断力、コミュニケーション力、文章構成力、表現力を、総合的に評価する。
小中教育専攻 社会科教育コース	社会的事象に関する課題を与え、総合的な学力をみるために、小論文形式で筆答させる。	基礎的な理解力・思考力・表現力を総合的に評価するが、課題把握の的確さや論理の構成力及び論述の独自性も採点・評価の対象とする。
小中教育専攻 理科教育コース	自然科学に関わる事象を基に理解力並びに科学的思考力を問い、総合的な学力をみるために、小論文形式で筆答させる。	自然に関わる事物や事象に関し、科学的理解力・思考力・判断力及び表現力を総合的に評価する。
小中教育専攻 家政教育コース	家庭生活に関わる事象について、総合的な学力をみるために、小論文形式で筆答させる。	理解力・思考力・表現力を総合的に評価するが、課題把握の的確さや論理の構成力・分析力についても採点・評価の対象とする。
中等教育専攻 国語教育コース	国語（現代文・古文・漢文・国語表現）に関する理解力・表現力をみるために、小論文形式で筆答させる。	目的・状況に応じて活用できる言語能力を測るため、国語（現代文・古文・漢文・国語表現）に関して、理解力、分析的思考力、判断力、コミュニケーション力、文章構成力、表現力を、総合的に評価する。

専攻等区分		実施内容	採点・評価基準
学校教育教員養成課程	中等教育専攻 社会科教育コース	社会的事象に関する課題を与え、総合的な学力をみるために、小論文形式で筆答させる。	基礎的な理解力・思考力・表現力を総合的に評価するが、課題把握の的確さや論理の構成力及び論述の独自性も採点・評価の対象とする。
	中等教育専攻 理科教育コース	自然科学に関わる事象を基に理解力並びに科学的思考力を問い、総合的な学力をみるために、小論文形式で筆答させる。	自然に関わる事物や事象に関し、科学的理解力・思考力・判断力及び表現力を総合的に評価する。
	中等教育専攻 技術教育コース	技術に関わる事象について、総合的な学力をみるために、小論文形式で筆答させる。	理解力・思考力・表現力を総合的に評価するが、課題の理解度や論理の構成力・分析力についても採点・評価の対象とする。
	中等教育専攻 家政教育コース	家庭生活に関わる事象について、総合的な学力をみるために、小論文形式で筆答させる。	理解力・思考力・表現力を総合的に評価するが、課題把握の的確さや論理の構成力・分析力についても採点・評価の対象とする。
養護教諭養成課程		健康科学に関する理解と関心度をみるために、小論文形式で筆答させる。	出題した問題に対する読解力、考察力を総合的に評価するが、文章の表現力、的確性、論理構成力についても採点・評価の対象とする。
教育協働学科	教育心理学専攻	人間生活に関する資料や論文を読み解き、その要点や問題点を論理的な思考をとおして把握し、それを表現する能力をみるため、小論文形式で筆答させる。	人間生活に関する基礎的な知識や理解をみるために、設問に応じた読解力、思考力、論理的な文章表現力を総合的に評価する。
	健康安全科学専攻	健康生活と安全に関する認識と関心事について、小論文形式で筆答させる。	思考力・表現力を総合的に評価するが、課題の理解度や構成力、誤りのない日本語で表現できているかについても採点・評価の対象とする。
	理数情報専攻 自然科学コース	自然科学に関わる事象を基に理解力並びに科学的思考力を問い、総合的な学力をみるために、小論文形式で筆答させる。	小論文をとおして自然科学に関する知識、理解力及び自然に対する探求心を総合的に評価する。
	グローバル教育専攻 多文化リテラシーコース	日本やアジア、ヨーロッパの言語文化、社会・芸術文化、教育文化に関する知識や理解力、表現力をみるために、小論文形式で筆答させる。	日本やアジア、ヨーロッパの言語文化、社会・芸術文化、教育文化に関する知識や理解力に加え、課題分析力、論理的思考力、文章力を総合的に評価する。

面接(口述試験を含む。)の実施内容

専攻等区分		実施内容	採点・評価基準
初等教育 教員養成課程	幼児教育専攻	幼児教育に関する理解・関心度・意欲について発問する。表現力や協調性をみる内容を含む場合がある。	面接をとおして、幼児教育に関する理解、関心度、意欲を総合的に評価する。表現力や協調性についても評価する場合がある。
	小学校教育専攻 昼間コース	初等教育に関する理解・関心度・意欲について発問する。表現力や協調性をみる内容を含む場合がある。	面接をとおして、論理性・表現力・応用能力をみるとともに、学校教育・教職への熱意・適性について総合的に評価する。
学校教育 教員養成課程	特別支援教育専攻	特別支援教育に関する理解と関心度をみるために面接形式で行う。	質問に対する理解力、思考力、表現の的確さ、論理性について評価するが、特別支援教育に関する理解力や関心度も総合的に採点・評価の対象とする。
	小中教育専攻 学校教育コース	学校教育に関する理解と認識をみるために面接形式で行う。	面接をとおして、学校教育に関する関心や理解の度合い、認識や洞察の深さなどについて総合的に評価する。
	小中教育専攻 国語教育コース	わが国の義務教育における国語科を指導するに十分な国語(現代文・古文・漢文・国語表現)に関する理解力・表現力をみるために面接形式で行う。	面接をとおして、わが国の義務教育における国語科を指導するに十分な国語への理解度や認識、探究心、表現力などを総合的に評価する。
	小中教育専攻 英語教育コース	英語教育の諸問題について質疑応答を行う。	英語・日本語運用能力、論理的思考能力及び教育に関する理解や認識を総合的に評価する。
	小中教育専攻 社会科教育コース	社会的事象に関する理解力・思考力・表現力をみるために面接形式で行う。	面接をとおして、社会的事象に関する理解力・思考力・表現力を総合的に評価する。
	小中教育専攻 数学教育コース	数学教育を志望する動機を尋ねる。義務教育諸学校(小学校・中学校)における教育についての知識と技能及び高度な数学・数学教育を学ぶための基礎学力・理解力があるか、抽象的思考・論理的思考を大切に納得がいくまで考える資質を持っているか、自由で柔軟な発想が出来るか、等を確認するための質問を行う。	実施内容の事柄に対する回答をもとに、義務教育諸学校(小学校・中学校)における教育についての知識と技能及び数学・数学教育を学ぶ意欲と数学教育専攻のカリキュラム内容に対応できる能力があるかを総合的に評価する。
	小中教育専攻 理科教育コース	理科及び理科教育に関する理解と関心度をみるために面接形式で行う。	面接をとおして、理科及び理科教育への理解度や認識を確認し、応答における考えの的確さ・論理性・コミュニケーション力などと併せて総合的に評価する。

専攻等区分	実施内容	採点・評価基準
小中教育専攻 家政教育コース	家庭科に関する理解と関心度をみるために面接形式で行う。	質問に対する考え方の的確さ、表現の簡潔さ、論理性等について総合的に評価するが、家庭科に関する理解力や関心度も採点・評価の対象とする。
小中教育専攻 保健体育コース	保健体育に関する理解と関心度をみるために面接形式で行う。	保健体育に関連する内容についての知識・理解力・関心等を総合的に評価する。
小中教育専攻 音楽教育コース	音楽教育に関する理解と関心度をみるために面接形式で行う。	質問に対する理解力、思考力をみるとともに、応答における考えの的確さ、論理性をふまえ、総合的に評価する。
小中教育専攻 美術・書道教育コース	<p><美術実技の選択者> 美術・美術教育に関する理解と関心度をみるために面接形式で行う。</p> <p><書道実技の選択者> 書道教育に関する理解と関心度をみるために面接形式で行う。</p>	<p><美術実技の選択者> 美術・美術教育に対する意欲、適性をみるとともに、日本語によるコミュニケーション能力などを総合的に評価する。</p> <p><書道実技の選択者> 志望動機、就学目的及び意欲、日本語によるコミュニケーション能力、専門に関わる知識等を総合的に評価する。</p>
中等教育専攻 国語教育コース	わが国の中等教育における国語科を指導するに十分な国語（現代文・古文・漢文・国語表現）に関する理解力・表現力をみるために面接形式で行う。	面接をとおして、わが国の中等教育における国語科を指導するに十分な国語への理解度や認識、探究心、表現力などを総合的に評価する。
中等教育専攻 英語教育コース	英語教育の諸問題について質疑応答を行う。	英語・日本語運用能力、論理的思考能力及び教育に関する理解や認識を総合的に評価する。
中等教育専攻 社会科教育コース	社会的事象に関する理解力・思考力・表現力をみるために面接形式で行う。	面接をとおして、社会的事象に関する理解力・思考力・表現力を総合的に評価する。
中等教育専攻 数学教育コース	数学教育を志望する動機を尋ねる。中学校と高等学校の教科「数学」についての知識と技能及び高度な数学・数学教育を学ぶための基礎学力・理解力があるか、抽象的思考・論理的思考を大切にして納得がいくまで考える資質を持っているか、自由で柔軟な発想が出来るか、等を確認するための質問を行う。	実施内容の事柄に対する回答をもとに、中学校と高等学校の教科「数学」についての知識と技能及び数学・数学教育を学ぶ意欲と数学教育専攻のカリキュラム内容に対応できる能力があるかを総合的に評価する。
中等教育専攻 理科教育コース	理科及び理科教育に関する理解と関心度をみるために面接形式で行う。	面接をとおして、理科及び理科教育への理解度や認識を確認し、応答における考えの的確さ・論理性・コミュニケーション力などと併せて総合的に評価する。

学校教育教員養成課程

専攻等区分		実施内容	採点・評価基準
学校教育教員養成課程	中等教育専攻 技術教育コース	技術教育に関する理解と関心度をみるために面接形式で行う。	質問に対する理解力、思考力をみるとともに応答における考えの的確さ、論理性について総合的に評価するが、技術教育に関する理解度や関心度についても採点・評価の対象とする。
	中等教育専攻 家政教育コース	家庭科に関する理解と関心度をみるために面接形式で行う。	質問に対する考え方の的確さ、表現の簡潔さ、論理性等について総合的に評価するが、家庭科に関する理解力や関心度も採点・評価の対象とする。
	中等教育専攻 保健体育コース	保健体育に関する理解と関心度をみるために面接形式で行う。	保健体育に関連する内容についての知識・理解力・関心等を総合的に評価する。
	中等教育専攻 音楽教育コース	音楽教育に関する理解と関心度をみるために面接形式で行う。	質問に対する理解力、思考力をみるとともに、応答における考えの的確さ、論理性をふまえ、総合的に評価する。
	中等教育専攻 美術・書道教育コース	<p><美術実技の選択者> 美術・美術教育に関する理解と関心度をみるために面接形式で行う。</p> <p><書道実技の選択者> 書道教育に関する理解と関心度をみるために面接形式で行う。</p>	<p><美術実技の選択者> 美術・美術教育に対する意欲、適性をみるとともに、日本語によるコミュニケーション能力などを総合的に評価する。</p> <p><書道実技の選択者> 志望動機、就学目的及び意欲、日本語によるコミュニケーション能力、専門に関わる知識等を総合的に評価する。</p>
養護教諭養成課程		健康問題に関する理解と応用的能力をみるために面接形式で行う。	質問に対する理解力、思考力をみるとともに応答における考えの的確さ、表現の簡潔さ、論理性、応用能力についても採点・評価の対象とする。
教育協働学科	教育心理学専攻	教育心理学に関する理解と関心度、および会話における日本語運用能力を見るために面接による試験を行う。	教育心理学に関する理解と関心度、および会話における日本語運用能力を総合的に評価する。
	健康安全科学専攻	健康生活と安全に関する知識と本専攻で学ぶ意欲をみるために面接形式で行う。	健康生活と安全への理解の程度と日本語によるコミュニケーション能力について総合的に評価する。
	理数情報専攻 数理情報コース	数理情報科学を学ぶための基礎学力・理解力・数学的素養および語学的素養について、質疑応答の形で面接を行う。	基礎学力・理解力・数学的素養・語学的素養という4つの観点から評価を行う。数理情報科学のカリキュラムに対応できる能力があるかを総合的に評価する。
	理数情報専攻 自然科学コース	自然科学に関連する教科に関する理解と認識をみるために面接形式で行う。	面接をとおして自然科学に関する知識、理解力及び自然に対する探求心を総合的に評価する。

専攻等区分	実施内容	採点・評価基準
グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース	英語と日本語による口述試験を行い、英語圏言語文化に関する理解と認識をみる。	英語と日本語による口述試験を行い、英語圏言語文化に関する理解、認識、探求心及び運用能力を総合的に評価する。
グローバル教育専攻 多文化リテラシーコース	日本やアジア，ヨーロッパの言語文化，社会・芸術文化，教育文化に関する問題意識，知識や理解力に加え，自らの意見を的確に表現するコミュニケーション能力をみる。日本語運用能力，英語学習の意欲を重視する。	日本やアジア，ヨーロッパの言語文化，社会・芸術文化，教育文化に関する問題意識，知識や理解力，コミュニケーション能力を総合的に評価する。
芸術表現専攻 音楽表現コース	芸術，特に音楽と社会との関わりについての理解と関心度をみるために面接形式で行う。	質問内容に関する知識，理解力，表現力及び意欲を総合的に評価する。
芸術表現専攻 美術表現コース	美術表現に関する基本的な理解と関心度をみるために面接形式で行う。	面接をとおして，美術表現に関する理解度や認識を確認する。また理解力・構想力・判断力・実践力などの基礎力と関心度及び学習・研究意欲を総合的に評価する。
スポーツ科学専攻	スポーツに関する理解と関心度をみるために面接形式で行う。	スポーツへの興味・関心・知識・意欲等を総合的に評価する。

教育協働学科

実技検査の実施内容及び留意事項

専攻等区分	実施内容及び留意事項
初等教育教員養成課程 幼児教育専攻	<p>次のⅠ～Ⅲの検査を実施する。</p> <p>Ⅰ. ピアノ実技 以下の課題から1曲選び暗譜で演奏すること</p> <p>① M. Clementi ソナチネ Op. 36, No. 5 3楽章 (ト長調) ② J. Haydn ソナタハ長調 Hob. XVI:35 第1楽章 ③ Burgmueller 18の練習曲より “風の精” Op109-15</p> <p>(注) 選んだ曲名と志願者氏名を別紙 (書式任意) に明記するとともに、楽譜に志願者氏名を明記し、願書とともに提出すること。</p> <p>Ⅱ. 弾き歌い 以下の課題から1曲選び暗譜で演奏すること</p> <p>① ドロップスのうた (作詞:まどみちお 作曲:大中恩) ② アイアイ (作詞:相田裕美 作曲:宇野誠一郎) ③ 七つの子 (作詞:野口雨情 作曲:本居長世)</p> <p>(注) 選んだ曲名と志願者氏名を別紙 (書式任意) に明記するとともに、楽譜 (移調して歌う場合は、移調した楽譜) に志願者氏名を明記し、願書とともに提出すること。</p> <p>Ⅲ. 言葉の表現 以下の中から検査時に与えられる1つの昔話を、3歳児クラスの幼児が集中して聴けるようにお話をする。なお、お話を始める前に、簡単な手遊びを1つ入れること。</p> <p>課題</p> <p>1. かさじぞう 2. おむすびころりん 3. ももたろう 4. ちからたろう</p> <p>(注) 1. 題名は、手遊びのあと、最初に幼児に向けて言うこと。 2. 絵本・道具 (台本や人形) などの使用は禁止する。 3. 手遊びは任意とするが、課題に対応していることが望ましい。</p>
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 保健体育コース 中等教育専攻 保健体育コース	<p>次の検査を実施する。</p> <p>専門的検査: 種目別運動技能に関するテスト</p> <p>下記の中から1種目を出願時に選択すること。出願後の変更は認めない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技 ・バスケットボール ・サッカー ・ラグビーフットボール ・バレーボール ・ハンドボール ・卓球 ・硬式テニス ・ソフトテニス ・硬式野球 ・バドミントン ・体操競技 ・創作ダンス ・柔道 ・剣道 ・水泳競技 (競泳)

専攻等区分	実施内容及び留意事項
<p>学校教育教員養成課程 小中教育専攻 音楽教育コース</p> <p>中等教育専攻 音楽教育コース</p>	<p>次のⅠ～Ⅲの検査を実施する。</p> <p>Ⅰ. 歌 曲</p> <p>下記の2曲から任意の1曲を歌う。</p> <p>1) 浜辺の歌 成田為三 (As, F-Dur)</p> <p>2) Caro mio ben G. Giordani (F, Es, D, C-Dur)</p> <p>(注) 1. 歌詞は、原語により暗譜で歌うこと。</p> <p>2. 上記以外の調で歌う場合は、移調した伴奏用楽譜(正確、明瞭に記譜し、歌唱旋律及び歌詞を記入したもの)に志願者氏名を明記し、願書とともに提出すること。(ただし、浜辺の歌については2番までとする。)</p> <p>3. 伴奏者は本学で配置する。</p> <p>Ⅱ. ピアノ</p> <p>次の1), 2)からそれぞれ1曲ずつ、計2曲を演奏する。</p> <p>1) 古典派のソナタから任意の一つの楽章(但し緩徐楽章は除く)</p> <p>2) ロマン派又は近現代の曲(ただし出版されている作品であること。邦人作品を含む。)</p> <p>(注) 1. 演奏は暗譜で、原則として繰り返しは省略すること。なお、演奏の途中で中止させる場合がある。</p> <p>2. 選んだ2曲の作曲者名と曲名及び志願者氏名を別紙に明記し、願書とともに提出すること。</p> <p>Ⅲ. 作品解釈 (解答時間60分)</p> <p>演奏した曲(歌曲、ピアノいずれでも可)に関する知識及び各自の演奏解釈を記述する。</p>
<p>学校教育教員養成課程 小中教育専攻 美術・書道教育コース</p> <p>中等教育専攻 美術・書道教育コース</p>	<p>次のⅠ、Ⅱのいずれかを選択すること。</p> <p>Ⅰ. 美術実技</p> <p>次の検査を実施する。 鉛筆による静物デッサン (注)鉛筆、消しゴム(ねり消しゴムを含む)は、各自持参すること。羽根ボウキは使用可。スケールは使用不可。 (カルトン、画用紙、クリップは本学で準備する。)</p> <p>Ⅱ. 書道実技</p> <p>次の1), 2)の検査を実施する。</p> <p>1) 臨書(楷書・行書・仮名) (注)硯・墨・筆(大・小)・水差し・無地の下敷き及び文鎮を各自持参すること。 (半紙は本学で準備する。)</p> <p>2) 書道に関するテスト(筆記テスト)</p>

志望専門別検査科目表

検査科目	志望専門		器楽		
	作曲	声楽	ピアノ	弦楽器	管・打楽器
作曲	A				
声楽		B			
ピアノ			C		
弦楽器				D	
管・打楽器					E

【専門】 志望専門別に受験すること。

A 作曲

ア 与えられたバス及びソプラノに和声を付け四声体にする。(制作時間2時間)

イ 与えられたテーマ又はモチーフに基づいて、ピアノ曲を作る。

(制作時間2時間)

(注)ア、イともに試験中の楽器の使用は認めない。

B 声楽

課題曲 2曲

次の10曲から任意の2曲を選び、暗譜で歌う。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1) Star vicino | S. Rosa |
| 2) Sento nel core | A. Scarlatti |
| 3) Son tutta duolo | A. Scarlatti |
| 4) Caro laccio | F. Gasparini |
| 5) Lasciar d'amarti | F. Gasparini |
| 6) Sebben, crudele | A. Caldara |
| 7) Se tu m'ami | G. B. Pergolesi |
| 8) An die Musik | F. P. Schubert |
| 9) Die Lotosblume | R. A. Schumann |
| 10) Wiegenlied | J. Brahms |

(注) 1 歌詞は原語とする。

2 曲の途中で演奏を中止させる場合がある。

3 伴奏用楽譜(歌唱旋律及び歌詞が記入されたもの)を提出すること。ただし、1ページの大きさはB5判(縦257mm×横182mm)とし、志願者氏名を明記の上、願書と共に提出すること。提出後の作品及び調性等の変更は認めない。

4 伴奏者は本学で配置する。

C ピアノ

ア、イの順に暗譜で演奏する。使用する楽譜の版は指定をしない。繰り返しは省略すること。

ア 次の3曲より任意の1曲

J. S. Bach : Das Wohltemperierte Klavier

Teil I Nr. 6 d-moll Praeludium と Fuga

Teil I Nr. 18 gis-moll Praeludium と Fuga

Teil II Nr. 15 G-dur Praeludium と Fuga

イ 次の3曲より任意の1曲

L.v. Beethoven : Sonate

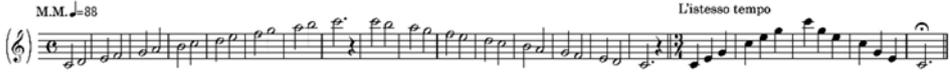
第7番 D-dur Op. 10 Nr. 3 第1楽章

第15番 D-dur Op. 28 第1楽章

第27番 e-moll Op. 90 第1楽章

教育協働学科
芸術表現専攻
音楽表現コース

専攻等区分	実施内容及び留意事項
教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース	<p>D 弦楽器</p> <p>楽器別により、それぞれ指定（ア、イ）されたものを暗譜で演奏する。ただし、無伴奏とする。また、楽譜について指定のあるものは、その版を用いること。</p> <p><u>自由曲については、楽器名、作曲者名、曲名及び志願者氏名を別紙（書式任意）に明記し、願書とともに提出すること。</u></p> <p>a ヴァイオリン</p> <p>ア Carl Flesch : Scale System より C-dur No. 5の冒頭の12小節（テンポは♩ =100～120） No. 6, 7, 8の冒頭の4小節 （テンポは♩ =40～50）</p> <p>イ 自由曲 1曲</p> <p>b ヴィオラ</p> <p>ア Carl Flesch : Scale System より C-dur No. 5の冒頭の12小節（テンポは♩ =100～120） （注）ヴィオラ用に編曲された楽譜を使用すること。</p> <p>イ 自由曲 1曲</p> <p>c チェロ</p> <p>ア J. Loeb : Gammes et arpèges pour violoncelle (Billaudot版)により、 3オクターブの音階と分散和音（C, D, Es, E-dur の中から当日指定） 音階は、テンポ♩ =60以上 スラーは  の形で演奏する。 分散和音は、テンポ、フィンガリングともに自由 スラーは  の形で演奏する。</p> <p>イ 自由曲 1曲</p> <p>d コントラバス</p> <p>ア シャープ又はフラットが3個までの調号をもつ長調又は短調のうちから、 2オクターブの音階（調は当日指定。短調は和声的短音階と旋律的短音階の 両方を演奏する。テンポ、フィンガリング、スラーは自由）</p> <p>イ 自由曲 1曲 （注）楽器貸出し可能</p> <p>E 管・打楽器</p> <p>楽器別により、それぞれ指定（ア、イ）されたものを演奏する。ただし、無伴奏とし、楽譜は見てもよい。</p> <p><u>自由曲については、楽器名、作曲者名、曲名及び志願者氏名を別紙（書式任意）に明記し、願書とともに提出すること。</u></p> <p>a フルート</p> <p>ア 長調の音階、半音階及び主和音の分散和音（調及びアーティキュレーションは当日指定）</p> <p>イ 自由曲 1曲</p> <p>b オーボエ</p> <p>ア フルートのアに同じ。</p> <p>イ 自由曲 1曲</p> <p>c クラリネット</p> <p>ア フルートのアに同じ。</p> <p>イ 自由曲 1曲</p> <p>d ファゴット</p> <p>ア フルートのアに同じ。</p> <p>イ 自由曲 1曲</p>

専攻等区分	実施内容及び留意事項
教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース	<p>e トランペット ア 次の譜例により、長調の音階2オクターブ及び分散和音(調は当日指定)</p>  <p>イ 自由曲 1曲</p> <p>f ホルン ア トランペットのアに同じ。 イ 自由曲 1曲</p> <p>g トロンボーン ア トランペットのアに同じ。 イ 自由曲 1曲</p> <p>h バス・トロンボーン ア トランペットのアに同じ。 イ 自由曲 1曲</p> <p>i テューバ ア トランペットのアに同じ。 イ 自由曲 1曲</p> <p>j 打楽器 ア 小太鼓の基本奏法 1つ打ち, 2つ打ち, 5つ打ち (緩→急→緩 等, 当日指定), ロール (<, >, < > 等, 当日指定) イ 小太鼓, マリンバのいずれかを用いた自由曲 1曲 (注) マリンバ(5オクターブ半), 小太鼓, スタンド, パチ置きは貸出し可能</p>
教育協働学科 芸術表現専攻 美術表現コース	<p>次の検査を実施する。 [実施内容] 鉛筆による素描(構想表現を含む)</p> <p>[留意事項] 鉛筆デッサン用具一式(鉛筆・消しゴム等)を持参すること。 モチーフ・画用紙・紙・カルトン等は本学で準備する。</p>
教育協働学科 スポーツ科学専攻	<p>次の検査を実施する。 専門的検査: 種目別運動技能に関するテスト 下記の中から1種目を出願時に選択すること。出願後の変更は認めない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技 ・バスケットボール ・サッカー ・ラグビーフットボール ・バレーボール ・ハンドボール ・卓球 ・硬式テニス ・ソフトテニス ・硬式野球 ・バドミントン ・体操競技 ・創作ダンス ・柔道 ・剣道 ・水泳競技(競泳)

実技検査の採点・評価基準

	専攻等区分	実施内容	採点・評価基準
初等教育 教員養成課程	幼児教育専攻	I. ピアノ実技 II. 弾き歌い III. 言葉の表現	ピアノ演奏・歌唱技術や表現力等について、幼児教育に必要な基礎的レベルに達しているか検査する。
	小中教育専攻 保健体育コース 中等教育専攻 保健体育コース	専門的検査：種目別運動技能に関するテスト	種目固有の運動技能について、保健体育専攻生としてふさわしい実技力であるかどうかを採点・評価する。
学校教育 教員養成課程	小中教育専攻 音楽教育コース 中等教育専攻 音楽教育コース	I. 歌曲 II. ピアノ III. 作品解釈	教員養成（音楽）に必要な基礎的技術、表現力等について検査する。 併せて、実技に必要な基礎的知識や、演奏に対する考え方についても審査し、総合的に評価する。
	小中教育専攻 美術・書道コース 中等教育専攻 美術・書道コース	次の I, II のいずれかを選択すること。 I. 美術実技 鉛筆による静物デッサン II. 書道実技 1) 臨書 2) 書道に関するテスト	<美術実技選択者> 基礎的な造形感覚（構成・対象把握）や表現能力を評価の対象とする。 <書道実技選択者> 用筆・構成などにかかわる表現力・鑑賞力・思考力を総合的に評価の対象とする。
教育協働 学科	芸術表現専攻 音楽表現コース	【専門】 A 作曲 B 声楽 C ピアノ D 弦楽器 E 管・打楽器	志望専門毎に設定された検査項目により、音楽性・演奏技術・創作能力等について審査し、評価する。
	芸術表現専攻 美術表現コース	鉛筆による素描（構想表現を含む）	以下の2点を総合的に評価する。 （1）与えられたモチーフを観察し、描写する力 （2）課題として提示された文章や条件を理解し、与えられたモチーフと関連づけて発想し、表現する力
	スポーツ科学専攻	専門的検査：種目別運動技能に関するテスト	種目固有の運動技能を、体力・技術・戦術等の視点から総合的に採点・評価する。

私費外国人留学生入学志願票等記入要領

入学志願票、受験票・写真票は、次の要領で記入してください。

A 共通事項

- 1 黒のボールペン（水性可）で記入してください。
- 2 漢字は楷書、数字は算用数字で記入してください。
- 3 ※印の欄には記入しないでください。

B 入学志願票

- 1 該当する欄は、すべて記入してください。
- 2 該当事項は、○で囲んでください。
- 3 氏名の自国での読み方をアルファベット欄に記入してください。また、日本国内で使用するための大学入学後の読み方をフリガナ欄にカタカナで記入してください。
- 4 在留資格欄には、入学志願者の有する在留資格を記入してください。
- 5 出願資格欄の出身高校欄は日本の高等学校に対応する学校を記入してください（5ページの出願資格（2）ア）。出願資格欄の資格試験欄について、大学入学に必要な国際バカロレア資格、バカロレア資格、アビトゥア資格等を取得している方は、その名称及び取得年月日を記入してください（5ページの出願資格（2）イ）。日本留学試験・日本語能力試験は記入不要です。
- 6 小中教育専攻保健体育コース、中等教育専攻保健体育コース及び教育協働学科スポーツ科学専攻の志望者は、受験する専門的検査の種目等を1つ選び、数字を○で囲んでください。
- 7 教育協働学科芸術表現専攻音楽表現コース志望者は、志望する専門を1つ選び、数字を○で囲んでください。
- 8 小中教育専攻美術・書道教育コース及び中等教育専攻美術・書道教育コース志望者は、受験する実技検査を1つ選び、数字を○で囲んでください。
- 9 学歴欄には、すべての教育機関について学校名、所在地、在学年数、修業年限、入学年月日及び修了（卒業）年月日（見込み含む）を年月順に記入してください。日本語学校は日本語学習歴欄に記入してください。
- 10 日本語学習歴欄は、すべての学習機関について学習機関名、所在地、学習期間を年月順に記入してください。
- 11 連絡先欄は、日本国内の連絡先を記入してください。
- 12 合格通知書受信場所は、連絡先と異なる場合のみ日本国内の受信場所を記入してください。

C 受験票・写真票

- 1 受験票と写真票には同一の写真（正面、上半身、脱帽の縦4 cm×横3 cmの寸法で3か月以内に撮影したもの。写真の裏面に氏名を記入。）を貼り付けてください。写真の上から、同封している本学所定の写真用シールを貼り付けてください。
 - 2 「志望課程・学科・専攻・コース」欄には教員養成課程の場合は課程・専攻・コースを、教育協働学科の場合は学科・専攻・コースを記入してください。
- （注）受験票裏面の受験上の注意事項をよく読んでください。

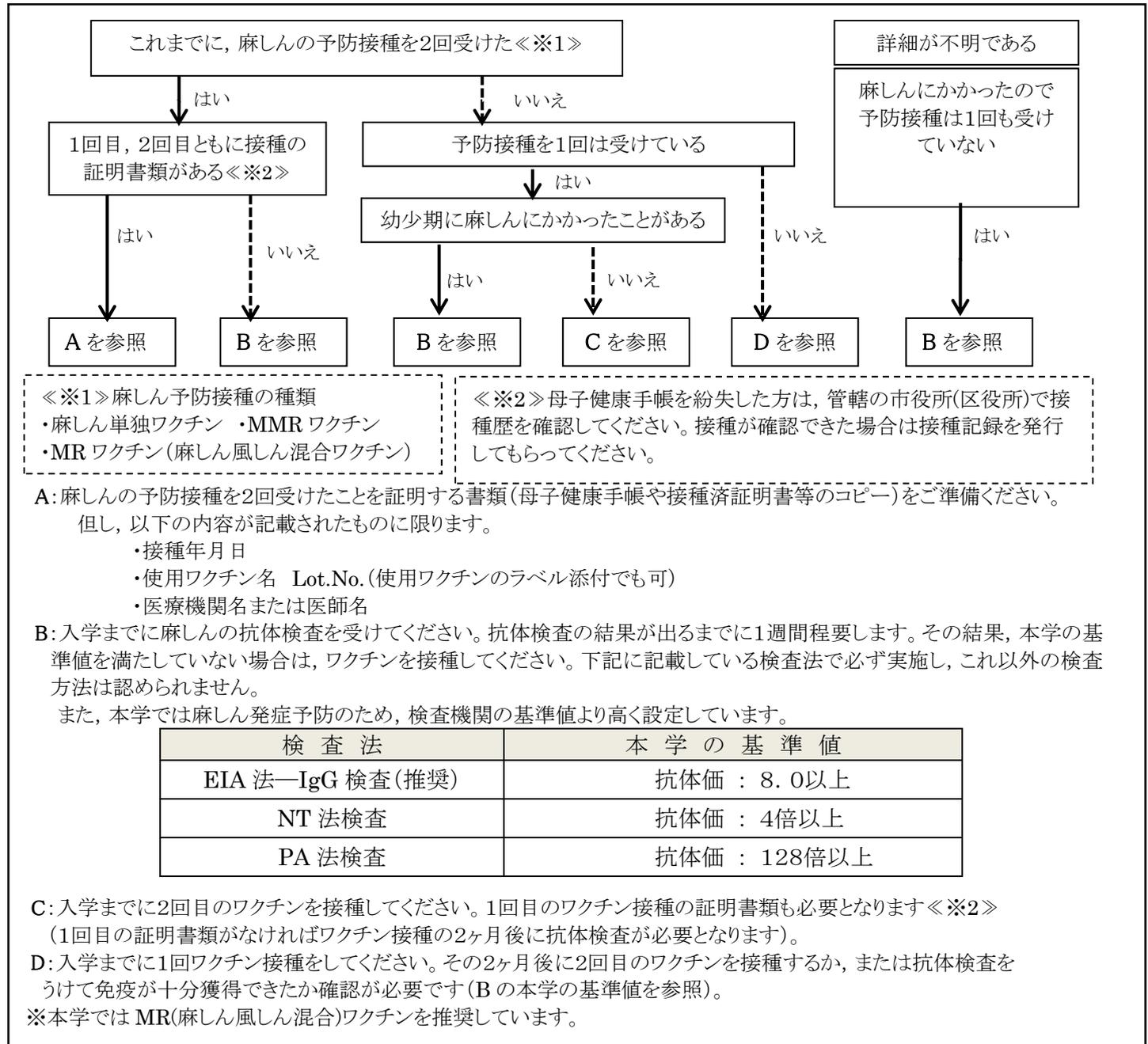
D その他

出願に当たっては、6ページの（1）をよく読み、出願書類等がそろっていることを確認してください。特に、自由曲や課題曲の選択が必要な方（20～24ページ参照）は入念に確認してください。

麻しん(はしか)の予防について《お知らせ》

厚生労働省は、2007年に高校・大学を中心とした学校等での麻しん(はしか)流行を経験したことから、麻しん予防を学校保健上の重要な課題として位置づけ、文部科学省と協力の上、麻しんの流行をなくすため、予防に有効なワクチンの2回接種を強く勧奨しています。これに基づき、本学入学試験合格者は、入学手続き書類として【麻しん(はしか)に関する確認書】の提出が必要です。合格者の年齢に関係なく、全員が対象となります。

本学所定の【麻しん(はしか)に関する確認書】は、入学手続き関係書類等と一緒に送付されます。お手元に届いてから入学手続きまでの期間が短い場合があります。下記のフローチャートを参考に、早めにご準備ください。



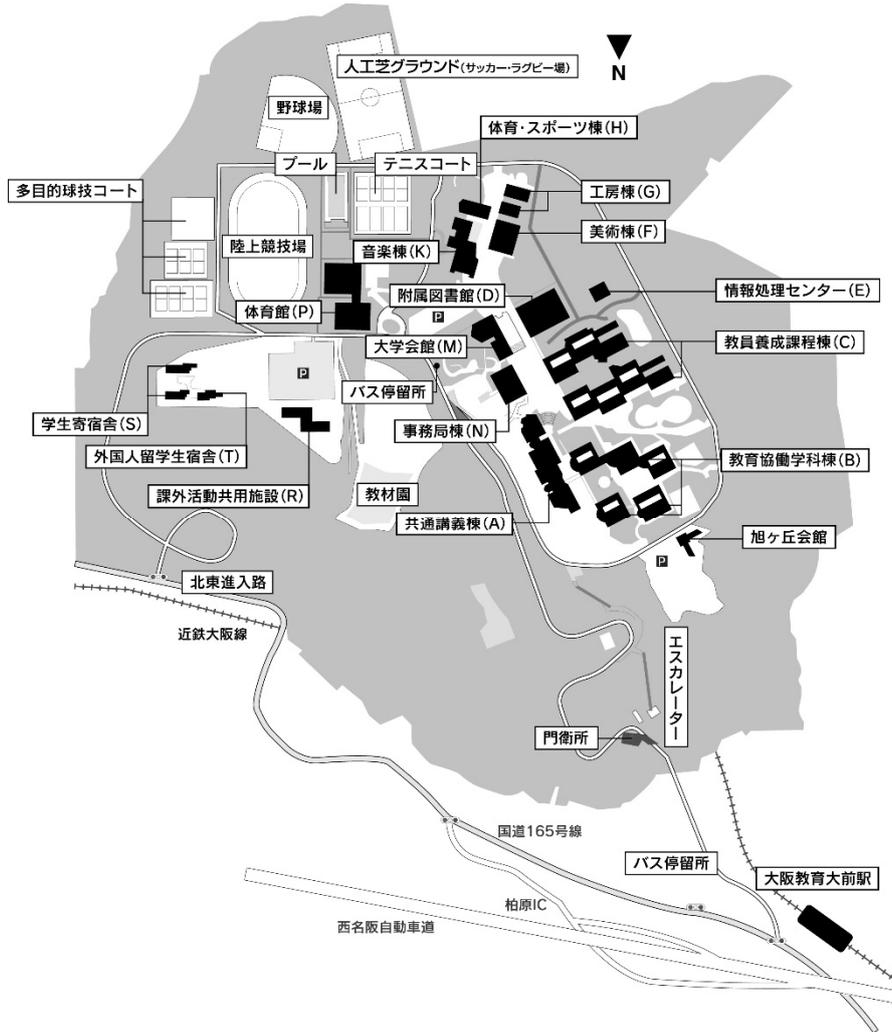
【麻しん(はしか)に関する確認書】については、入学手続きに関する事前のお知らせです。
入学試験の出願や受験には関係ありません。

〈問い合わせ先〉 大阪教育大学保健センター
電話 072-978-3811(受付時間:平日9:00~16:00)

入学試験場：大阪教育大学柏原キャンパス

所在地 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

交通 近鉄大阪線「大阪教育大前駅」(「鶴橋駅」から約30分)下車 南東へ約1km
 ※エスカレーター(上り専用)、階段あり

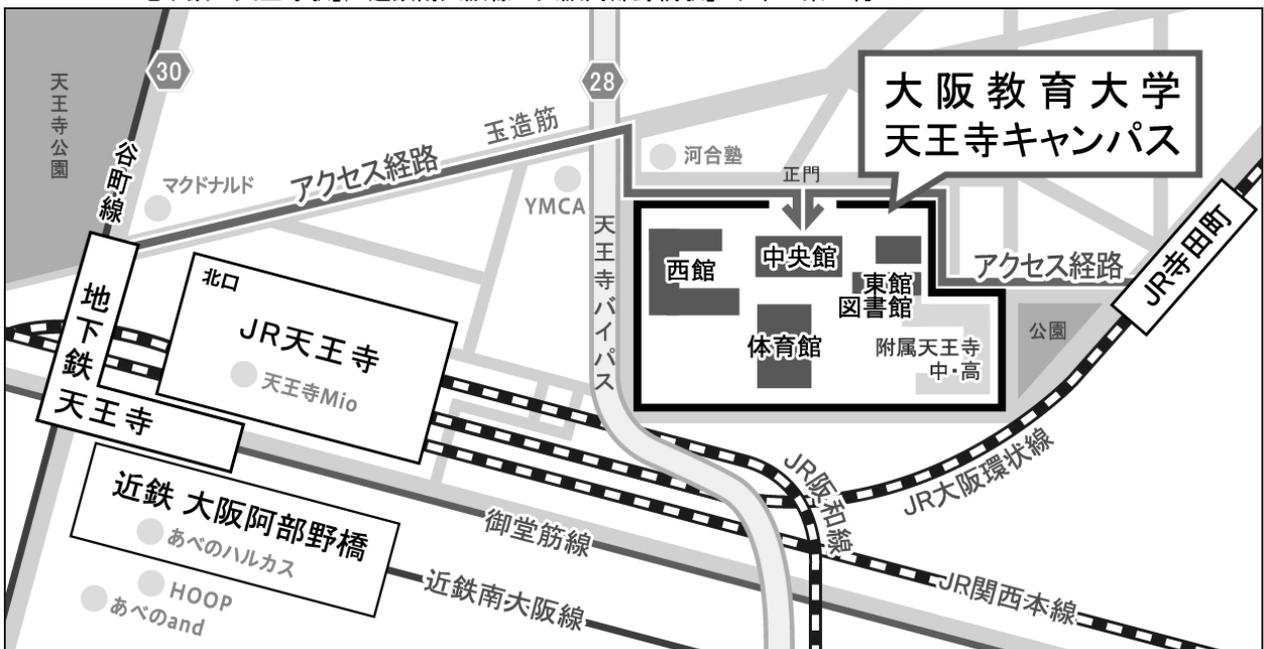


大阪教育大学天王寺キャンパス

所在地 大阪市天王寺区南河堀町4-88

交通 JR大阪環状線「寺田町駅」下車 南出口を西へ約350m

JR・地下鉄「天王寺駅」、近鉄南大阪線「大阪阿部野橋駅」下車 東へ約600m



大阪教育大学では、下記の入試情報及び学生生活案内についてウェブページでお知らせしています。
また、災害等により不測の事態が発生した場合もウェブページを利用して情報提供を行います。
(大学案内・募集要項はウェブページから請求できます。)

- ・教育学部（一般選抜，学校推薦型選抜，私費外国人留学生，第3年次編入学）
- ・大学院教育学研究科（修士課程）
- ・大学院連合教職実践研究科（専門職学位課程）
- ・特別支援教育特別専攻科

ウェブページ
(PC・スマホ版)

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/>



【資料請求について】

大学案内や募集要項等は、本学ウェブページから資料請求やPDF版をダウンロードすることが可能です。またテレメールサイトに右のQRコードからアクセスし、請求することもできます。



問い合わせ先

大阪教育大学入試課

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

電話 072-978-3323 (入試課直通)

(受付時間：平日9:00～17:00)

FAX 072-978-3327

電子メール nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp